

# Ⅲ 工業用水道事業

## 1 工業用水道事業の現況

### 1 給水状況

#### (1) 給水能力

本市の工業用水道事業は、昭和32年に北九州水道組合が第一次工業用水道事業に着手して以来、幾度かの拡張工事を重ねてきた。

昭和58年8月には、遠賀川河口堰からの取水を開始し、第三次工業用水道事業及び産炭地域工業用水道事業の一環として建設した本城浄水場の稼働を始めた。その結果、給水能力は、1日25万4,000m<sup>3</sup>となっている。

平成28年度 給水状況 (平成29年3月31日現在)

| 事業名                          | 北九州市工業用水道  |
|------------------------------|------------|
| 給水能力(m <sup>3</sup> /日)      | 254,000    |
| 給水会社数(社)                     | 67         |
| 基本水量・契約水量(m <sup>3</sup> /日) | 179,320    |
| 年間有収水量(m <sup>3</sup> )      | 35,381,382 |
| 浄水場等                         | 本城・伊佐座・力丸  |

※ 第一次、第二次、第三次工業用水道と産炭地域工業用水道を北九州市工業用水道事業として事業統合した。(平成20年4月1日)



猪熊取水場(昭和58年完成)



伊佐座取水場(昭和19年完成)

#### (2) 給水事業所と有収水量

平成28年度の給水事業所及び有収水量は、67事業所3,538万1,382m<sup>3</sup>で、二部料金制の導入により節水効果が働き前年度に比べて有収水量は132万754m<sup>3</sup>(3.6%)減少した。

### 工業用水道主要施設系統図

